

関東信越厚生局長 殿

国立大学法人 群馬大学医学部附属病院長  
野 島 美

国立大学法人 群馬大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	63.8 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	301人	276人	498.6人	看 護 補 助 者	0人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	6人	18人	20.1人	理 学 療 法 士	10人	臨 床 検 査 技 師	59人
薬 剤 師	45人	7人	50.8人	作 業 療 法 士	5人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	1人	0.7人	視 能 訓 練 士	8人	そ の 他	0人
助 産 師	23人	0人	23.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	648人	53人	688.9人	臨 床 工 学 技 士	13人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	5人
准 看 護 師	1人	1人	1.2人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	7人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	162人
管理栄養士	4人	1人	5.0人	診 療 放 射 線 技 師	49人	そ の 他 の 職 員	4人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	602.4人	13.6人	616.0人
1日当たり平均外来患者数	1,810.8人	77.1人	1,887.9人
1日当たり平均調剤数			873.4件

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	0人
抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	0人
神経変性疾患の遺伝子診断	2人
光トポグラフィーを用いたうつ症状の鑑別診断補助	55人
難治性眼に対する羊膜移植術	24人
重粒子線治療	214人
隆起性皮膚線維肉腫肉腫の遺伝子診断	1人
RET遺伝子診断	3人
先天性難聴の遺伝子診断	13人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	0人
マントル細胞リンパ腫の遺伝子検査	9人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	13人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	難治性眼疾患に対する羊膜移植術	取扱患者数	5人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>羊膜は、免疫学的に寛容な組織であり、他人に移植してもほとんど拒絶反応を生じないとされている。また、これまでの研究により、羊膜には、抗炎症作用、創傷治癒作用、線維化抑制作用などがあることが知られている。</p> <p>これまで、難治性とされてきた眼表面疾患は、炎症や線維化、それに伴う瘢痕癒着、あるいは拒絶反応により、たとえ手術をおこなったとしても早期に視力障害を生じて不成功に終わることも少なくなかった。</p> <p>羊膜移植は、これらの問題を解決して、難治性角結膜疾患に対する手術を可能とし、術後長期にわたり患者の視力を維持ができ、また失明の予防ができるものとして、有効な治療法であるとの数々の報告がある。</p> <p>以上のような根拠に基づいて、手術以外では解決不可能な難治性の角結膜疾患に対して、眼表面に羊膜を移植する手術を行うことにより、抗炎症、創傷治療、線維化抑制などが図られ、患者の視力予後の向上が期待できると考えられる。</p>			
医療技術名	皮膚腫瘍におけるHuman papillomavirus の関与	取扱患者数	5人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>皮膚腫瘍のパラフィンブロックよりDNAを抽出し、Human papillomavirus DNAをPCR法で検出する。</p>			
医療技術名	I-131 MIBGによる悪性神経内分泌腫瘍の核医学治療	取扱患者数	10人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>悪性の神経内分泌腫瘍(褐色細胞腫、旁神経節腫瘍、交感神経節腫瘍、神経芽細胞腫などの神経提由来の腫瘍群)を対象として、I-131 MIBG Metaiodobenzylguanidine(MIBG)による核医学治療を行う。</p>			
医療技術名	PNPLA3の遺伝子診断による非アルコール性脂肪性肝炎発症の予測	取扱患者数	5人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>PNPLA3の遺伝子多型を測定することにより、非アルコール性脂肪性肝炎の発症・疾患重症度(炎症、肝線維化の程度)を予測する。</p>			
医療技術名	CYP2C19の遺伝子多型測定	取扱患者数	11人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>ピロリ菌除菌前の治療効果判定でPPIの代謝に関与するCYP2C19の遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。</p>			
医療技術名	ITPAの遺伝子多型測定	取扱患者数	56人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのリバビリン貧血規定遺伝子ITPAの遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。</p>			
医療技術名	IRRDRの変異を測定	取扱患者数	6人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのウイルス遺伝子変異IRRDRの変異を測定し治療効果を予測する。</p>			
医療技術名	骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に対するパズツール処理自家骨移植術	取扱患者数	0人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>悪性骨腫瘍切除後に残る広範な骨欠損に対して、腫瘍細胞を殺して、かつ骨再生能を温存したパズツール骨による再建術。</p>			
医療技術名	新生児脳低温療法	取扱患者数	1人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>新生児低酸素性虚血性脳症へ全身管理しながら脳低温療法を行う。</p>			
医療技術名	新生児一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	5人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>新生児遷延性肺高血圧症に対して一酸化窒素吸入療法を含めた全身管理を行う。</p>			

医療技術名	食道pH・インピーダンス測定	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 胃食道逆流症診断のための検査。			
医療技術名	小児に対する上部・下部内視鏡検査	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 危険性の高い乳幼児も対象とした、消化管の検査。			
医療技術名	小児に対する肝生検	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 麻酔を含め、合併症危険の高い乳児、幼児も対象とした生検。			
医療技術名	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法/S-1+シスプラチン併用療法による第Ⅲ相臨床試験	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 腹膜播種を伴う進行胃癌に対する、パクリタキセル腔内投与を含む新規化学療法と、標準的化学療法との比較検討。			
医療技術名	肝腫瘍に対するラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 肝腫瘍の切除で、腹腔鏡下に肝周囲を剥離後して、小開腹下にラジオ波を併用して肝切除を行い、その治療の安全性や効果を検討する。			
医療技術名	膵低悪性度腫瘍に対する腹腔鏡補助下肝中央区域切除	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 膵の低悪性度腫瘍に対して、腹腔鏡下に膵切除後に、小開腹下に膵・空腸吻合再建して、その治療の安全性や効果を検討する。			
医療技術名	多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)の遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 多発性内分泌腫瘍症1型が疑われる患者への遺伝カウンセリングとMEN1遺伝子変異検査および家系内で遺伝新変異が確認されている場合の保因者診断。			
医療技術名	多発性内分泌腫瘍症4型(MEN4)の遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 多発性内分泌腫瘍症4型が疑われる患者への遺伝カウンセリングとCDKN1B遺伝子変異検査。			
医療技術名	原発性アルドステロン症の確定診断	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 原発性アルドステロン症患者におけるKCNJ5遺伝子変異検査。			
医療技術名	家族性大腸ポリポーシスの遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 家族性大腸ポリポーシスが疑われる患者への遺伝カウンセリングとAPC遺伝子変異検査および家系内で遺伝子変異が確認されている場合の保因者診断。			
医療技術名	デュシェンヌ型筋ジストロフィーの遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 デュシェンヌ型筋ジストロフィーが疑われる患者および保因者への遺伝カウンセリングとdystrophin遺伝子変異検査。			
医療技術名	LPL欠損症に対する遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 LPL欠損が原因と思われる1型及び5型高脂血症が疑われる患者への遺伝カウンセリングとLPL遺伝子変異検査。			

医療技術名	再発性難治性甲状腺嚢胞に対する硬化療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 再発を繰り返す難治性甲状腺嚢胞へのピシバニール注入による嚢胞硬化療法。			
医療技術名	悪性褐色細胞腫に対するCVD化学療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 転移性あるいは再発性で外科的切除術が困難な悪性褐色細胞腫に対しての、cyclophosphamide, vincristine, dacarbazineによる化学療法。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	93人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	109人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	131人	・原発性胆汁性肝硬変	21人
・全身性エリテマトーデス	325人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	75人
・再生不良性貧血	55人	・混合性結合組織病	29人
・サルコイドーシス	194人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	47人	・特発性間質性肺炎	30人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	346人	・網膜色素変性症	21人
・特発性血小板減少性紫斑病	106人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	37人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	151人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	39人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	41人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	63人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	68人	・ライゾーム病	4人
・クローン病	80人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	16人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	256人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21人
・後縦靭帯骨化症	49人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	46人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	22人	・リンパ管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	29人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	7人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	150人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。





(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遠隔医療技術活用に関する諸外国と我が国の実態の比較調査研究	酒巻 哲夫	医療情報部	10,000,000	神委 厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	三國 雅彦	精神科神経科	12,100,000	神委 厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	森 昌朋	病態制御内科学	28,462,000	神委 厚生労働省
糸球体バリアー機能におけるチロシンリン酸化脱リン酸化経路の解析	野島 美久	生体統御内科学	1,700,000	神委 日本学術振興会
妊娠率向上のための子宮におけるLH/hCG作用の解明	峯岸 敬	産科婦人科学	1,100,000	神委 日本学術振興会
microRNA(miRNA)のLH作用機序における関与の解明	峯岸 敬	産科婦人科学	3,100,000	神委 日本学術振興会
前立腺癌における脂質代謝に関する研究	鈴木 和浩	泌尿器科学	3,200,000	神委 日本学術振興会
最新3D-CT画像と重粒子線を用いた高精度神経ブロック法の開発	齋藤 繁	麻酔神経科学	2,500,000	神委 日本学術振興会
粒子線治療時間短縮を目的とする粒子線ビーム強度高精度制御技術の開発	鳥飼 幸太	重粒子線医学センター	700,000	神委 日本学術振興会
ガドリニウムによる皮膚線維化・皮膚石灰化モデルマウスの作製	石川 治	皮膚科	600,000	神委 日本学術振興会
新しいRFIDを利用した病院業務定量化の確立	齋藤 勇一郎	第二内科	1,400,000	神委 日本学術振興会
虚血性心疾患にともなう致死性不整脈発症の遺伝的基盤についての検討	中島 忠	第二内科	1,600,000	神委 日本学術振興会
心腎連関におけるNotchシグナル及びFGF23の役割の解明	中原 健裕	第二内科	1,700,000	神委 日本学術振興会
非小細胞肺癌にてKRAS変異及びEGFR変異により誘導されるEREG発現の意義	砂長 則明	病態制御内科学	2,200,000	神委 日本学術振興会
アクチンミオシン結合蛋白トランスジェニックマウスにおける間質性肺炎の検討	古賀 康彦	第一内科	1,500,000	神委 日本学術振興会
肺癌における血管新生阻害剤(ベバシズマブ)のバイオマーカー探索	解良 恭一	第一内科	1,900,000	神委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎の病態における核内レセプターPXRとCARのクロストーク	柿崎 暁	第一内科	500,000	神委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎における核内受容体転写共役活性化因子PDIP1の役割	佐藤 賢	光学医療診療部	1,100,000	神委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎における細胞特異的なSTAT3の役割	堀口 昇男	第一内科	1,200,000	神委 日本学術振興会
新たな疾患概念「潜在性中枢性甲状腺機能低下症」の確立と病態の解析	山田 正信	第一内科	1,700,000	神委 日本学術振興会
転写共役因子PDIP1欠損による脂質代謝異常の病態解析とPDIP1の分子機能解析	佐藤 哲郎	内分泌内科	2,100,000	神委 日本学術振興会
多発性内分泌腫瘍症1型の腫瘍発生メカニズムの解明	小澤 厚志	内分泌内科	2,100,000	神委 日本学術振興会
血管内皮由来因子による腎幹細胞数の制御	前嶋 明人	第三内科	1,700,000	神委 日本学術振興会
TGF-β1による糸球体上皮細胞障害とWT1の発現制御について	坂入 徹	第三内科	1,600,000	神委 日本学術振興会
細胞外マトリックスを使用したヒト骨髄異形成症候群特異的iPS細胞長期培養系樹立	半田 寛	第三内科	1,700,000	神委 日本学術振興会
タウのリン酸化におけるプレセニンの役割と脳脊髄液における分子機能の解析	池田 将樹	神経内科	1,400,000	神委 日本学術振興会
新規迅速遺伝子解析技術の発癌感受性遺伝子多型診断への応用	清水 公裕	第二外科	1,400,000	神委 日本学術振興会

小計 27

シスプラチンによる消化管異常収縮に対する漢方の抑制効果—六君子湯とグレリン—	持木 彰人	第一外科	800,000	神委	日本学術振興会
微小転移モデル確立による食道癌の転移メカニズムと各転移過程における細胞動態の解明	宮崎 達也	第一外科	500,000	神委	日本学術振興会
血管新生因子ShhによるAngiopoietin制御機構:病態モデルへの展開	藤井 孝明	第一外科	1,900,000	神委	日本学術振興会
マウス、ヒト食道のin vitro長期臓器培養法の確立	横堀 武彦	第一外科	1,700,000	神委	日本学術振興会
乳癌における新たな治療戦略としてのステロイド・アンド・ゼノバイオテック受容体発現	六反田 奈和	第二外科	600,000	神委	日本学術振興会
組織内エストロゲン定量による前立腺疾患リスクおよび伸展予測	柴田 康博	泌尿器科	800,000	神委	日本学術振興会
アポトーシス抑制因子サバイビンをターゲットとした新規分子標的癌治療の研究	小池 秀和	泌尿器科	1,000,000	神委	日本学術振興会
血中インフラボン濃度の前立腺癌発症・増殖に与える影響に関する予防疫学的研究	宮久保 真意	泌尿器科	400,000	神委	日本学術振興会
口腔ケラチノサイトのエネルギー代謝と分化再生能を指標とした創傷治癒マーカーの開発	横尾 聡	顎口腔科学	600,000	神委	日本学術振興会
405nm半導体レーザーを用いた低侵襲的診断・治療法の口腔外科領域への導入	宮崎 英隆	顎口腔科学	500,000	神委	日本学術振興会
筋線維芽細胞の特性に着目した皮膚創傷治療法の開発に関する基礎的研究	安部 正敏	皮膚科	500,000	神委	日本学術振興会
眼光障害の分子生物学的検索	秋山 英雄	眼科	1,200,000	神委	日本学術振興会
循環不全モデルにおける脳幹前庭神経細胞の発火特性変化の解明	高安 幸弘	耳鼻咽喉科	1,900,000	神委	日本学術振興会
内耳障害における有毛細胞間リン酸化シグナル伝達異常の解明	村田 考啓	耳鼻咽喉科	2,400,000	神委	日本学術振興会
一過性脳虚血に対する舌下神経前位核ニューロンの脆弱性	柴野 正人	耳鼻咽喉科	500,000	神委	日本学術振興会
高次脳機能障害患者の呈する社会不適応要因の抽出についての研究	米村 公江	精神科神経科	700,000	神委	日本学術振興会
統合失調症と気分障害の社会認知障害評価における光トポグラフィの実用化	成田 秀幸	精神科神経科	1,000,000	神委	日本学術振興会
気分障害・適応障害の反復経頭蓋磁気刺激法に際する脳機能反応性の検討	青山 義之	精神科神経科	1,000,000	神委	日本学術振興会
発達期の脳と麻酔薬:脳の臨界期を介する神経毒性機序に関する新規統合的アプローチ	西川 光一	麻酔神経科学	1,000,000	神委	日本学術振興会
蛍光蛋白導入マウスを用いた麻酔薬による抑制シナプス伝達分子調節機構の統合解析	西川 光一	麻酔神経科学	1,400,000	神委	日本学術振興会
神経障害性疼痛治療に有効な薬剤の機序解明—下行性抑制系の活性化と薬剤可塑性—	小幡 英章	麻酔科蘇生科	6,500,000	神委	日本学術振興会
CTガイド分子標的疼痛治療の開発:高周波熱凝固と栄養因子修飾による可塑性制御	肥塚 史郎	麻酔科蘇生科	900,000	神委	日本学術振興会
痛みの性差と鎮痛機序—fMRI研究	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	1,700,000	神委	日本学術振興会
神経障害性疼痛に対する抗うつ薬の鎮痛機序の解明	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	900,000	神委	日本学術振興会
麻酔薬によるシナプス可塑性抑制作用の解明:細胞外GABA濃度の関与	石関 淳子	麻酔科蘇生科	1,000,000	神委	日本学術振興会
GABA作動性ニューロンの可視化による成長期の脳神経回路構築への麻酔薬の影響	久保 和宏	麻酔科蘇生科	800,000	神委	日本学術振興会
分子シャペロンHSPの発現増強による食道癌手術成績向上への取り組み	高橋 篤	第一外科	1,000,000	神委	日本学術振興会
卵巣機能と脂質代謝の関連についての基礎的研究	池田 禎智	産科婦人科	1,400,000	神委	日本学術振興会
がんに対する重粒子線治療の治療方法確立のためのトランスレーショナル研究	中野 隆史	腫瘍放射線学	2,100,000	神委	日本学術振興会
神経膠芽腫に対する新規GRP78阻害薬併用放射線療法の開発	野田 真永	放射線科	1,600,000	神委	日本学術振興会
放射線治療による腫瘍特異的免疫の活性化に関する研究	吉本 由哉	放射線科	1,700,000	神委	日本学術振興会

糖尿病の一塩基多型の解析と新たなインスリン分泌調節機構の解明	村上 正巳	臨床検査医学	5,100,000	審委	日本学術振興会
糖尿病患者における動脈硬化進展の病期を反映する至適バイオマーカーの探索	角野 博之	検査部	2,300,000	審委	日本学術振興会
Pdx1転写因子複合体によるエピジェネティックな膵β細胞機能調節機構の解明	荒木 修	検査部	1,130,000	審委	日本学術振興会
動脈硬化と高分子CRPの関連についての解析	古田島 伸雄	検査部	600,000	審委	日本学術振興会
敗血症性中枢神経障害での脳内転写因子活性と治療法の確立	門井 雄司	手術部	700,000	審委	日本学術振興会
PPARガンマKOマウスを用いた敗血症モデル毛細血管内皮細胞の果たす役割の検討	國元 文生	集中治療部	1,100,000	審委	日本学術振興会
敗血症におけるバソプレッシン投与に対する心筋の反応性の検討	日野原 宏	集中治療部	700,000	審委	日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌の発生進展とLAT1発現 分子治療の可能性	小山 徹也	病理診断学	2,200,000	審委	日本学術振興会
INI1蛋白不活性化の有無からみた中枢神経系ラプドイド腫瘍の臨床病理学的研究	平戸 純子	病理部	1,200,000	審委	日本学術振興会
神経変性疾患に対するリハビリテーション効果と高次脳機能障害との関連に関する研究	宗宮 真	リハビリテーション部	500,000	審委	日本学術振興会
メタゲノミクスを用いた病院環境の微生物分布の解析と院内感染対策への応用	徳江 豊	感染制御部	1,200,000	審委	日本学術振興会
神経再生と神経分化制御因子を用いた神経障害性疼痛治療法の開発	関本 研一	腫瘍センター	900,000	審委	日本学術振興会
子宮頸癌の再発リスク分類とリスクに応じた高精度放射線治療法の開発	大野 達也	重粒子線医学センター	1,300,000	審委	日本学術振興会
放射線照射が腫瘍浸潤能に及ぼす影響についての分子生物学的検討	江原 威	腫瘍放射線学	1,200,000	審委	日本学術振興会
正常脳神経細胞における、重粒子線の影響に関する分子生物学的解析	鈴木 義行	腫瘍放射線学	1,400,000	審委	日本学術振興会
低酸素腫瘍に対するX線と炭素イオン線の感受性と分子生物学的機構に関する基礎的研究	齋藤 淳一	重粒子線医学センター	1,200,000	審委	日本学術振興会
放射線治療の種類による患者QOLの違いについて～正確なQOL評価を目指して～	加藤 弘之	重粒子線医学センター	1,700,000	審委	日本学術振興会
放射線照射で誘導される骨髄細胞と小脳神経細胞融合の生理学的意義の解明	神沼 拓也	重粒子線医学センター	1,600,000	審委	日本学術振興会
悪性脳腫瘍細胞の高浸潤・増殖能に対するX線と粒子線の影響とその分子機構の解明	吉田 由香里	重粒子線医学センター	1,400,000	審委	日本学術振興会
四次元治療計画による呼吸性移動腫瘍の高精度重粒子線治療に関する研究	田代 陸	重粒子線医学センター	1,100,000	審委	日本学術振興会
心肺蘇生後脳保護における二酸化炭素の有効性に関する実験的研究	大嶋 清宏	臓器病態救急学	1,000,000	審委	日本学術振興会
食塩感受性高血圧における炎症シグナルとリンパ管再構築に対する高張性Na蓄積の意義	中村 哲也	臨床試験部	1,200,000	審委	日本学術振興会
駆出率保持性心不全発症をもたらす心血管系因子の解明と治療法への応用	新井 昌史	臓器病態内科学	2,600,000	審委	日本学術振興会

筋萎縮性索硬化症等神経難病患者及び家族に対する療養支援体制の整備と、医療ネットワーク及び地域支援ネットワーク構築に関する研究	岡本幸市	神経内科	4,358,000	補 委	群馬県
難病患者及び家族に対する相談体制の整備と支援体制に関する研究	岡本幸市	脳神経内科学	6,626,000	補 委	群馬県
難聴児の会社適応性に関する研究	長井 今日子	耳鼻咽喉科	1,440,000	補 委	群馬県
拠点病院の日常診療データベースから新しい臨床仮説を創出するための研究/局所進行前立腺がんに対する内分泌療法・放射線	伊藤 一人	泌尿器科	1,600,000	補 委	国立がん研究センター
放射線治療を含む標準治療確立のための他施設共同研究/放射線治療を含む集学的治療の研究	中野 隆史	放射線科	500,000	補 委	国立がん研究センター
COPD増悪モデルの作出とGAG分子薬の個体レベルでの薬効評価に関する研究	前野 敏孝	第二内科	3,000,000	補 委	独立行政法人医薬基盤研究所
NCGG方式の都合的な高齢者は褥瘡、皮膚潰瘍に関する学問体系の発展とそれらを基盤としたチーム医療体制の提唱	永井 弥生	皮膚科	1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)の有用性に関する研究	福田正人	精神科神経科	1,200,000	補 委	国立精神・神経センター
うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明(脳プロ)	三國 雅彦	精神科神経科	31,272,000	補 委	文部科学省
細胞機能制御に基づく循環器疾患の創薬基盤研究,血管平滑筋細胞の形質変換の制御機構の解析	倉林 正彦	第二内科	1,500,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)の有用性に関する研究	福田正人	精神科神経科	500,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター

小計 11

合計 92

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol.	Analysis of colonoscopic perforations at a local clinic and a tertiary hospital.	Sagawa T	病態制御内科学
J Gastroenterol Hepatol.	Functional gastrointestinal disorders in adolescents and quality of school life.	Sagawa T	病態制御内科学
Aliment Pharmacol Ther.	Monosodium glutamate stimulates secretion of glucagon-like peptide-1 and reduces postprandial glucose after a lipid-containing meal.	Hosaka H	光学診療部
Oncogene.	Oncogenic KRAS-induced epiregulin overexpression contributes to aggressive phenotype and is a promising therapeutic target in non-small-cell lung cancer.	Sunaga N	病態制御内科学
PLoS One.	Syntaxin4 interacting protein (synip) binds phosphatidylinositol (3,4,5) triphosphate.	Saito T	病態制御内科学
Endocr J.	KCNJ5 mutations in aldosterone- and cortisol-co-secreting adrenal adenomas [Rapid Communication].	Yamada M	病態制御内科学
Br J Cancer.	Prognostic significance of L-type amino-acid transporter 1 expression in surgically resected pancreatic cancer.	Kaira K	病態制御内科学
PLoS One.	NR4A1 (Nur77) mediates thyrotropin-releasing hormone-induced stimulation of transcription of the thyrotropin $\beta$ gene: analysis of TRH knockout mice.	Nakajima Y	病態制御内科学
Toxicol Lett.	Ligand dependent hepatic gene expression profiles of nuclear receptors CAR and PXR.	Tojima H	病態制御内科学
Neurosci Lett.	Enhanced expression of nesfatin/nucleobindin-2 in white adipose tissue of ventromedial hypothalamus-lesioned rats.	Osaki A	病態制御内科学
Endocrinology.	Nucleobindin-2 is a positive modulator of EGF-dependent signals leading to enhancement of cell growth and suppression of adipocyte differentiation.	Tagaya Y	病態制御内科学
Hepatol Res.	Response-guided peginterferon-alpha-2b plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients with genotype 2 and high viral loads.	Sato K	病態制御内科学
Protein Pept Lett.	Secreted Nucleobindin-2 Inhibits 3T3-L1 Adipocyte Differentiation.	Tagaya Y	病態制御内科学
J Clin Biochem Nutr.	Different gastroesophageal reflux symptoms of middle-aged to elderly asthma and chronic obstructive pulmonary disease (COPD) patients.	Shimizu Y	病態制御内科学
Neurogastroenterol Motil.	Cascade stomach is associated with upper gastrointestinal symptoms: a population-based study.	Kusano M	光学診療部
J Clin Endocrinol Metab.	Expression and mutations of KCNJ5 mRNA in Japanese patients with aldosterone-producing adenomas.	Taguchi R	病態制御内科学
World J Gastroenterol.	Analysis of ABC (D) stratification for screening patients with gastric cancer.	Kudo T	病態制御内科学
Biochem Biophys Res Commun.	Haploinsufficient and predominant expression of multiple endocrine neoplasia type 1 (MEN1)-related genes, MLL, p27Kip1 and p18Ink4C in endocrine organs.	Taguchi R	病態制御内科学
J Clin Biochem Nutr.	In-air microparticle induced X-ray emission analysis of particles in interstitial pneumonia lung tissue obtained by transbronchial biopsy.	Shimizu Y	病態制御内科学
Allergy Asthma Clin Immunol.	Prevalence of asthma symptoms based on the European Community Respiratory Health Survey questionnaire and FENO in university students: gender differences in symptoms and FENO.	Ishizuka T	病態制御内科学
Biochem Biophys Res Commun.	Extracellular acidification induces connective tissue growth factor production through proton-sensing receptor OGR1 in human airway smooth muscle cells.	Matsuzaki S	病態制御内科学
J Biol Regul Homeost Agents.	Changes of immunomodulatory cytokines associated with omalizumab therapy for severe persistent asthma.	Shimizu Y	病態制御内科学

Hepatol Int.	Hepatocyte growth factor overexpression ameliorates liver inflammation and fibrosis in a mouse model of nonalcoholic steatohepatitis.	Tojima H	病態制御内科学
J Biol Chem.	Cyclin-dependent kinase-5 is a key molecule in tumor necrosis factor- $\alpha$ -induced insulin resistance.	Nohara A	病態制御内科学
Br J Pharmacol.	Azelinidipine is a calcium blocker that attenuates liver fibrosis and may increase antioxidant defence.	Ohyama T	病態制御内科学
Respir Res.	Elemental analysis of lung tissue particles and intracellular iron content of alveolar macrophages in pulmonary alveolar proteinosis.	Shimizu Y	病態制御内科学
J Gastroenterol Hepatol.	Optimal follow-up time to determine the sustained virological response in patients with chronic hepatitis C receiving pegylated-interferon and ribavirin.	Namikawa M	病態制御内科学
World J Gastroenterol.	Topical application of glycyrrhizin preparation ameliorates experimentally induced colitis in rats.	Kudo T	病態制御内科学
Islets.	Glucagon plays an important role in the modification of insulin secretion by leptin.	Shimizu H	病態制御内科学
J Gastroenterol.	A retrospective cohort study of partial splenic embolization for antiviral therapy in chronic hepatitis C with thrombocytopenia.	Tahara H	病態制御内科学
J Clin Endocrinol Metab.	Cardiovascular complications of patients with aldosteronism associated with autonomous cortisol secretion.	Nakajima Y	病態制御内科学
Allergy.	Intracellular glutathione redox status in human dendritic cells regulates IL-27 production and T-cell polarization.	Kamide Y	病態制御内科学
Int J Cancer.	Oncogenic KRAS-induced interleukin-8 overexpression promotes cell growth and migration and contributes to aggressive phenotypes of non-small cell lung cancer.	Sunaga N	病態制御内科学
Intern Med.	Gastroptosis is associated with less dyspepsia, rather than a cause of dyspepsia, in Japanese persons.	Kusano M	光学診療部
J Gastroenterol Hepatol.	Rapid gastric emptying, rather than delayed gastric emptying, might provoke functional dyspepsia.	Kusano M	光学診療部
Expert Rev Cardiovasc Ther.	Cumulative effects of genetic risk variants on the development of common atherosclerosis.	Tsuchiya T	病態制御内科学
Liver Int.	Transforming growth factor- $\alpha$ attenuates hepatic fibrosis: possible involvement of matrix metalloproteinase-1.	Ohyama T	病態制御内科学
Neurosci Lett.	Liver X receptor- $\alpha$ / $\beta$ expression ratio is increased in ACTH-secreting pituitary adenomas.	Hashimoto K	病態制御内科学
Life Sci.	Calcineurin inhibition by polaprezinc in rats with experimentally-induced colitis.	Zhang Y	病態制御内科学
Front Biosci (Elite Ed).	Influence of tissue particles on Fas expression in idiopathic interstitial pneumonia.	Shimizu Y	病態制御内科学
Am J Respir Cell Mol Biol. 45:136-144, 2011.	Notch induces myofibroblast differentiation of alveolar epithelial cells via transforming growth factor- $\beta$ -Smad3 pathway.	Aoyagi-Ikeda K	第二内科
J Biol Chem. 2011;286:19138-19148, 2011.	Notch signaling pathway enhances bone morphogenetic protein 2 (BMP2) responsiveness of Msx2 gene to induce osteogenic differentiation and	Shimizu T	第二内科
J Atheroscler Thromb. 2011;18:670-683, 2011.	Activation of receptor for advanced glycation end products induces osteogenic differentiation of vascular smooth muscle cells.	Suga T	第二内科
Metabolism 60:789-798, 2011.	Constitutively active heat shock factor 1 enhances glucose-driven insulin secretion.	Uchiyama T	第二内科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 300:L740-752, 2011	Hypoxia-inducible factor-1 $\{\alpha\}$ mediates TGF- $\{\beta\}$ -induced PAI-1 production in alveolar macrophages in pulmonary fibrosis.	Ueno M,	第二内科

Cardiovasc Res. 90:57-67, 2011	Mitochondrial transcription factors TFAM and TFB2M regulate Serca2 gene transcription.	Watanabe A	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol 2011;22:351, 2011.	Unintentional protrusion and trapping of the screw-in helix of an implantable cardioverter defibrillator lead.	Irie T.	第二内科
Cardiol J 2011;18:450-453, 2011	Typical atrial flutter with atypical flutter wave morphology due to abnormal interatrial conduction.	Irie T.	第二内科
Pacing Clin Electrophysiol. 34: 1695-1698, 2011.	Reciprocal Induction of Long RP and Wide QRS Tachycardias.	Irie T.	第二内科
Intern Med 50:113-117, 2011	Onset of reentrant ventricular tachycardia modulated by variable impulse propagation through the zone of slow conduction.	Kaneko Y	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol 2011; 22: 478-480, 2011	Is the targeted accessory pathway alive or dead?	Kaneko Y	第二内科
Pacing Clin Electrophysiol 34:1028-1030, 2011.	Differential diagnosis of supraventricular tachycardia with ventriculoatrial dissociation during ventricular overdrive pacing.	Kaneko Y	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol 22:945-947, 2011.	Long RP' Tachycardia with an initial A-A-V activation sequence: what is the mechanism?	Kaneko Y	第二内科
Intern Med 50:2243, 2011.	Ventricular fibrillation following bidirectional tachycardia due to digitalis toxicity.	Kaneko Y	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol 22:1294-1296, 2011.	Atrial flutter after cavotricuspid isthmus ablation: what is the mechanism?	Kaneko Y	第二内科
Heart. 97:817-822, 2011	Effects of spironolactone on cardiac sympathetic nerve activity and left ventricular remodelling after reperfusion therapy in patients with first ST-segment elevation myocardial infarction.	Kasama S	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol 22:598-599, 2011	Epimyocardium-dominant electrical impairment in a patient with cardiomyopathy.	Nakajima T	第二内科
Int Heart J. 52:27-31, 2011	Identification of six novel SCN5A mutations in Japanese patients with Brugada syndrome.	Nakajima T	第二内科
Circ J. 75:1164-1169, 2011.	Effectiveness of adaptive servo-ventilation for treating heart failure regardless of the severity of sleep-disordered breathing.	Takama N	第二内科
Haematologica. 2011 Nov;96(11):1636-43	Cytotoxic molecule-positive classical Hodgkin's lymphoma: a clinicopathological comparison with cytotoxic molecule-positive peripheral T-cell lymphoma of not otherwise specified type.	Asano N, Kinoshita T, Tamaru J, Ohshima K, Yoshino T, Niitsu N, Tsukamoto N,	第三内科
PLoS One. 2012; 7(2):e30557	Neovascular niche for human myeloma cells in immunodeficient mouse bone.	Iriuchishima H, Takubo K, Miyakawa Y, Nakamura-Ishizu A,	第三内科
Genes Cells. 2011 Jul;16(7):803-14.	miR126 positively regulates mast cell proliferation and cytokine production through suppressing Spred1.	Ishizaki T, Tamiya T, Taniguchi K, Morita R, Kato R, Okamoto F,	第三内科
THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL 2011 61(2): 175 -177.	Sunitinib Induced Immune Thrombocytopenia	Matsumoto K, Yokohama A, Yuzuriha A, Toyama K, Mitsui T,	第三内科
Eur J Haematol. 2011 Sep;87(3):253-8	Interleukin-17F gene polymorphism in patients with chronic immune thrombocytopenia.	Saitoh T, Tsukamoto N, Koiso H, Mitsui T, Yokohama A, Handa H,	第三内科
Int J Lab Hematol. 2011 Oct;33(5):526-32.	Interleukin-10 gene polymorphism reflects the severity of chronic immune thrombocytopenia in Japanese patients.	Saitoh T, Kasamatsu T, Inoue M, Mitsui T, Koiso H, Yokohama A, Handa	第三内科
Int J Hematol. 2011 Nov;94(5):495-8.	Discrepancy in EBV-DNA load between peripheral blood and cerebrospinal fluid in a patient with isolated CNS post-transplant	Shimizu H, Saitoh T, Koya H, Yuzuriha A, Hoshino T, Hatsumi N,	第三内科
Acta Haematol. 2011;126(2):114-8.	Pure red cell aplasia induced only by intravenous administration of recombinant human erythropoietin.	Shimizu H, Saitoh T, Ota F, Jimbo T, Tsukada Y, Murakami H, Nojima Y.	第三内科
Eur J Haematol. 2012 Feb;88(2):181-2.	Mature natural killer cell lymphoma with an unusual immunophenotype: CD16+, CD56-, and CD57 negative	Shimizu H, Yokohama A, Jimbo T, Yoshida T, Kojima M, Tsukamoto N,	第三内科

Intern Med. 2011;50(21):2557-61.	Differences in the JAK2 and MPL mutation status in the cell lineages of the bcr/abl-negative chronic myeloproliferative neoplasm subtypes.	Toyama K, Karasawa M, Yokohama A, Mitsui T, Uchiyama H, Saitoh T,	第三内科
Med Mol Morphol. 2011 Dec;44(4):237-41	Long-term follow-up of EBV-positive lymphoproliferative disorders in a patient with systemic lupus erythematosus.	Tsukamoto N, Handa H, Yokohama A, Mitsui T, Saitoh T, Koiso H,	第三内科
Int J Hematol. 2012 Jan;95(1):77-85.	TCL1A gene involvement in T-cell prolymphocytic leukemia in Japanese patients.	Yokohama A, Saitoh A, Nakahashi H, Mitsui T, Koiso H, Kim Y, Uchiyama H,	第三内科
J Clin Invest. 2011 Apr;121(4):1456-70.	NKp46 identifies an NKT cell subset susceptible to leukemic transformation in mouse and human.	Yu J, Mitsui T, Wei M, Mao H, Butchar JP, Shah MV, Zhang J,	第三内科
Acta Haematol. 2011;126(3):147-50.	Successful treatment of autoimmune hemolytic anemia associated with multicentric Castleman disease by anti-interleukin-6 receptor antibody	Yuzuriha A, Saitoh T, Koiso H, Mitsui T, Uchiyama H, Yokohama A,	第三内科
Cancer Prev Res. 2011 May;4(5):752-7	Effect of suppressive oligodeoxynucleotides on the development of inflammation-induced papillomas.	Ikeuchi H, Kinjo T, Klinman DM.	第三内科
Am J Physiol Renal Physiol. 2012 Mar;302(6):F694-702.	Age-related decline in label-retaining tubular cells: implication for reduced regenerative capacity after injury in the aging kidney.	Miya M, Maeshima A, Mishima K, Sakurai N, Ikeuchi H, Kuroiwa T,	第三内科
Am J Physiol Renal Physiol. 2011 Aug;301(2):F387-95.	Enhancement of in vitro human tubulogenesis by endothelial cell-derived factors: implications for in vivo tubular regeneration after injury.	Miya M, Maeshima A, Mishima K, Sakurai N, Ikeuchi H, Kuroiwa T,	第三内科
Nephrol Dial Transplant. 2011 Sep;26(9):2746-52	TGF-beta1 reduces Wilms' tumor suppressor gene expression in podocytes	Sakairi T, Abe Y, Kopp JB.	第三内科
J Immunol. 2011 Jul 1;187(1):291-7.	Signal regulatory protein $\alpha$ regulates the homeostasis of T lymphocytes in the spleen.	Sato-Hashimoto M, Saito Y, Ohnishi H, Iwamura H, Kanazawa Y,	第三内科
Mod Rheumatol. 2011 Jun;21(3):282-9.	Efficacy and safety of tacrolimus for induction therapy in patients with active lupus nephritis.	Takahashi S, Hiromura K, Sakurai N, Matsumoto T, Ikeuchi H, Maeshima A,	第三内科
臨床病理60巻5号 Page414-421, 2011	総合アレルギー対策住宅転居によるリンパ球サブセットの変化	新井勝哉, 小河原はつ江, 井出規文, 佐藤友香, 牛木和美, 井上まどか, 静裕子, 小林良乃, 早川昌基, 村上正巳, 原澤浩毅, 土橋邦生, 村上博和	第三内科
臨床病理59巻2号 Page138-143, 2011	唾液分泌物によるストレス評価の検証	牛木和美, 佐藤友香, 新井勝哉, 井出規文, 松井直紀, 半田寛, 村上博和, 小河原はつ江	第三内科
The Kitakanto Medical Journal 61巻3号 Page281-286, 2011	抗レトロウイルス療法施行前のCD4陽性T細胞数は治療後の免疫再構築を予測する	内海英貴, 小川孔幸, 柳沢邦雄, 合田史, 小倉秀充, 馬渡桃子, 澤村守夫, 野島美久	第三内科
臨床血液52巻11号 Page1772-1776, 2011	巨赤芽球性貧血を合併したため定型的病像を欠いた慢性骨髄性白血病	小磯博美, 塚本憲史, 島野俊一, 唐沢正光, 村上博和, 野島美久	第三内科
臨床血液52巻8号 Page708-712, 2011	赤芽球癆治療中にサイトメガロウイルスと単純ヘルペスウイルスの混合感染による舌炎を発症したGood症候群	小屋紘子, 横濱章彦, 三浦あやか, 星野匠臣, 三井健揮, 小磯博美, 齊藤貴之, 内海英貴, 半田寛, 平戸純子, 広村桂樹, 唐沢正光, 村上博和, 塚本憲史, 野島美久	第三内科
臨床血液 53巻3号 Page329-336, 2011	群馬県における非ホジキンリンパ腫患者の実態調査	橋本陽子, 横濱章彦, 齊藤明生, 中橋寛隆, 外山耕太郎, 三井健揮, 小磯博美, 齊藤貴之, 半田寛, 内海英貴, 神保貴宏, 村山佳予子, 玉木義雄, 松本守生, 澤村守夫, 唐沢正光, 村上博和, 平戸純子, 野島美久, 小島勝, 塚本憲史	第三内科



日本臨床免疫学会誌 34巻5号 Page420-425, 2011	アダリムマブ投与中にニューモシスチス肺炎を発生した関節リウマチ患者2例の報告	池内秀和, 梅元あずさ, 月田真祐子, 櫻井則之, 前嶋明人, 黒岩卓, 廣村 桂樹, 野島美久	第三内科
関東リウマチ44号 Page48-54, 2011	視野障害を呈したWegener肉芽腫症の一例	大石裕子, 櫻井則之, 本 橋玲奈, 前嶋明人, 松本 孝之, 黒岩卓, 廣村桂樹, 野島美久	第三内科
Biol Psychiatry. 70(8):e35-e36 2011 Oct.	Changes in gray matter volume with rapid body weight changes in anorexianervosa: a voxel-based morphometric study.	Suda M.	精神科神経科
PloS One. 6(5):e2001 2011	Autistic Traits and brain activation during face-to-face conversations in typically developed adults.	Suda M.	精神科神経科
精神科臨床サービス 11(4):482-486. 2011年 10月	総論: 支援方針を見直すとき	亀山正樹	精神科神経科
BRAIN and VERVE 6(4):175-183. 2012年2 月	心理現象・精神症状の脳機能と近赤外線スペクトロスコーピ(NIRS)	福田正人	精神科神経科
検査と技術 40(3):182- 188. 2012年3月	光トポグラフィ検査(NIRS)による脳機能測定	福田正人	精神科神経科
ファルマシア 47(9):809- 812. 2011年	うつ病の異種性に対応した抗うつ療法の確立に向けて	三國雅彦	精神科神経科
最新精神医学 16(3) 2011年5月	精神疾患・心理現象とNIRS	福田正人	精神科神経科
精神医学 53(7):647-654 2011年7月	大学生における双極性気分変調に関する報告	上原徹	精神科神経科
日本生物学的精神医学 会誌22(2):75-81 2011年 6月	NIRSとMEGによる気分障害の研究	武井雄一	精神科神経科
児童青年精神医学とその 接近領域 52(3) 2011年 6月	児童青年精神医学・医療におけるリエゾン(連携)とレジリエンス(復元力)に関連する脳科学の最近の進歩	三國雅彦	精神科神経科
日本小児皮膚科学会雑 誌 30(1):15-20. 2011	鶏卵アレルギー児への新型インフルエンザワクチン接種と皮内反応の検討	八木 久子	小児科
World J Gastroenterol. 17(6):779-783. 2011.	Serum magnesium concentration in children with functional constipation treated with magnesium oxide.	Tatsuki M, Miyazawa R, Tomomasa T, Ishige T, Nakazawa T, Arakawa H.	小児科
Kitakanto Med J. 61:119- 126. 2011	Nelarabine Resistance of Childhood T-Cell lymphoblastic Leukemia/ Lymphoma Cells.	Kanazawa T, Shiba N, Aizawa A, Okuno H, Tamura K, Tsukada S, Kumamoto T, Yamada S,	小児科
Leukemia. 25:1356- 1358.2011	CBL mutation in childhood therapy-related leukemia.	Shiba N, Taki T, Park MJ, Nagasawa M, Kanazawa T, Takita J, Ohnishi H, Sotomatsu	小児科
Pediatr Infect Dis J. 30(2):145-147. 2011.	External Validation of a Risk Score to Predict Intravenous Immunoglobulin Resistance in Patients With Kawasaki Disease.	Seki M, Kobayashi T, Kobayashi T, Morikawa A, Otani T, Takeuchi K, Ayusawa M, Tsuchiya K,	小児科
Allergol Int. 60(1):53-59. 2011.	Relationship between exhaled nitric oxide and small airway lung function in normal and asthmatic children.	Nakajima N, Mochizuki H, Muramatsu R, Hagiwara S, Mizuno T, Arakawa H.	小児科
Rheumatol Int. 2011 Dec 11. [Epub ahead of print]	Novel mutations of MVK gene in Japanese family members affected with hyperimmunoglobulinemia D and periodic fever syndrome.	Mizuno T, Sakai H, Nishikomori R, Oshima K, Ohara O, Hata I, Shigematsu Y, Ishige T,	小児科
Pediatr Cardiol 011:32:509-511.	Isolated Unilateral Agenesis of the Pulmonary Artery: Surgical Repair With an Artificial Graft.	Ishii Y, Miyamoto T, Kobayashi T, Kobayashi T.	小児科

Int Arch Allergy Immunol. 2011;156(3):305-12.	Lack of transient receptor potential vanilloid-1 enhances Th2-biased immune response of the airways in mice receiving intranasal, but not intraperitoneal, sensitization.	Mori T, Saito K, Ohki Y, Arakawa H, Tominaga M, Tokuyama K.	小児科
J Surg Res.DOI:10.1016/j.jss.2011.09.016, 2011.	Ghrelin Level and Body Weight Loss After Esophagectomy for Esophageal Cancer. (Online First)	Miyazaki T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Kyobu Geka. 64(8 Suppl):770-5, 2011.	Primary esophageal motility disorders; especially about esophageal achalasia.	Miyazaki T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Int Surg.95(4):309-314	Combination of hiatal hernia with nonspecific esophageal motility disorder (NEMD) successfully treated with thoracic and abdominal surgery: report of a case.	Sohda M et al.	第一外科 (病態総合外科)
Ann Surg Oncol.18(3):888-893	Prognostic significance of CD151 expression in esophageal squamous cell carcinoma with aggressive cell proliferation and invasiveness.	Suzuki S et al.	第一外科 (病態総合外科)
J Am Coll Surg.213(6):e35-37, 2011. (Online Published Only)	Novel Procedure of Circular Stapler-Guided Nasogastric Tube Insertion during Esophageal Reconstruction.	Tanaka N et al.	第一外科 (病態総合外科)
Int J Oncol.38(5):1437-1443, 2011.	MicroRNA miR-125b is a prognostic marker in human colorectal cancer.	Yokobori T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Ann Surg Oncol. DOI: 10.1245/s10434-011-2097-1, 2011. (Online First)	TNFAIP8 Overexpression: Clinical Relevance to Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Hadisaputri YE et al.	第一外科 (病態総合外科)
J Gastroenterol Hepatol.26(6):1028-1033, 2011.	Comparing endoscopic submucosal dissection with transanal resection for non-invasive rectal tumor: A retrospective study.	Kiriyama S et al.	第一外科 (病態総合外科)
World J Surg.35(4):805-810, 2011.	Effects of glutamine on gastrointestinal motor activity in patients following gastric surgery.	Mochiki E et al.	第一外科 (病態総合外科)
Ann Surg Oncol.18(4):1195-1203, 2011.	Clinical Significance of Melanoma Antigen-Encoding Gene-1 (MAGE-1) Expression and Its Correlation with Poor Prognosis in Differentiated Advanced Gastric Cancer.	Ogata K et al.	第一外科 (病態総合外科)
Surg Today.41(8):1133-1137, 2011.	Gastric schwannomas show obviously increased fluorodeoxyglucose uptake in positron emission tomography: Report of two cases.	Ohno T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Clin Exp Gastroenterol.4:291-296, 2011.	Rikkunshito, a Traditional Japanese Medicine, Suppresses Cisplatin-Induced Anorexia in Humans.	Ohno T et al.	第一外科 (病態総合外科)
J Gastrointest Surg.15(8):1361-1367, 2011.	Mosapride citrate improves postoperative ileus of patients with colectomy.	Toyomasu Y et al.	第一外科 (病態総合外科)
World J Surg.35(12):2710-2716, 2011.	The utility of a noninvasive 13C-acetate breath test to predict quality of life after gastrectomy.	Toyomasu Y et al.	第一外科 (病態総合外科)
Surg Endosc. 25(8):2487-2491, 2011.	Novel method of the double-loop slip-knot: preknitting on the laparoscopic forceps enables easy and secure intracorporeal ligation.	Asao T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Tumori.97(1):62-65, 2011.	Accuracy of intraoperative macroscopic diagnosis of sentinel node metastases in breast cancer: Is accurate prediction possible?	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Int J Colorectal Dis. 26(9):1151-1155, 2011.	Effects of subcutaneous drain for the prevention of incisional SSI in high-risk patients undergoing colorectal surgery.	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)

Hepatogastroenterology.5 8(110-111):1470-1473, 2011.	Fujii T et al. Elevated C-reactive protein level is associated with the tumor depth of invasion in patients with operable colorectal carcinoma.	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
World J Gastroenterol.17(15):2003 -2006, 2011.	Extracapsular invasion as a risk factor for disease recurrence in colorectal cancer.	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Am Surg.77(2):242-244, 2011.	Kugel hernia repair through an anterior approach with laparoscopic observation.	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
BMC Cancer. 11(1):216, 2011.	Process of distant lymph node metastasis in colorectal carcinoma: implication of extracapsular invasion of lymph node	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology.5 8(107-108):752-755, 2011.	Relationship between C-reactive protein levels and wound infections in elective colorectal surgery: C-reactive protein as a predictor for	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology.5 8(109):1168-1170, 2011.	Transanal local excision in the treatment of rectal carcinoid: result and implication.	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Am Surg.77(6):690-693, 2011.	Use of a handheld, semiconductor (cadmium zinc telluride)-based gamma camera in navigation surgery for primary	Fujii T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology.5 8(112):1930-1932, 2011.	Scheduled Prospective Tri-Weekly Modified FOLFOX6 Maintenance Chemotherapy in the Treatment of Metastatic Colorectal Cancer.	Tsutsumi S et al.	第一外科 (病態総合外科)
Anticancer Res.31(11):3963-3967, 2011.	Tumor response and negative distal resection margins of rectal cancer after hyperthermochemoradiation therapy.	Tsutsumi S et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology.5 8(107-108):861-864, 2011.	Effectiveness of intraperitoneal hyperthermochemotherapy for malignant peritoneal mesothelioma and estimation of its effect by	Yamaguchi S et al.	第一外科 (病態総合外科)
Am Surg.77(5):E91-93, 2011.	Preoperative multidisciplinary management of airway obstruction by huge goiter with papillary thyroid cancer.	Yamaguchi S et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology.5 8(112):1958-1962, 2011.	Cell to Cell Interaction in Clusters Enhances Thermosensitivity in HT29 Human Colon Cancer Cells.	Yamauchi H et al.	第一外科 (病態総合外科)
Br J Cancer.105(12):1885- 1893, 2011.	E/N-cadherin switch mediates cancer progression via TGF- $\beta$ -induced epithelial-to-mesenchymal transition in extrahepatic	Araki K et al.	第一外科 (病態総合外科)
Int Surg.96(2):153-158, 2011.	Mixed ductal-endocrine carcinoma of the pancreas occurring as a double cancer: report of a case.	Araki K et al.	第一外科 (病態総合外科)
Int J Cancer.129(12):2775- 2786, 2011.	Transient gene silencing of galectin-3 suppresses pancreatic cancer cell migration and invasion through degradation of $\beta$ -catenin.	Kobayashi T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Clin Exp Metastasis.28(4):367-376, 2011.	Transient silencing of galectin-3 expression promotes both in vitro and in vivo drug-induced apoptosis of human pancreatic carcinoma cells.	Kobayashi T et al.	第一外科 (病態総合外科)
Case Rep Gastroenterol.5(2):502- 507, 2011.	An individual with gastric schwannoma with pathologically malignant potential surviving two years after laparoscopy-assisted partial gastrectomy.	Watanabe A et al.	第一外科 (病態総合外科)
J Biomed Biotechnol. 165214, 2011. (Online Published Only)	Mechanisms of resistance to EGFR TKIs and development of a new generation of drugs in non-small-cell lung cancer.	Kosaka et al.	第一外科 (病態総合外科)

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 59(12):815-818, 2011.	Successful resection of a glomus tumor of the trachea.	Mogi A et al.	第一外科 (病態総合外科)
Gen Thorac Cardiovasc Surg.59(9):619-622, 2011.	Thoracoscopic resection of a mesenchymal cystic hamartoma of the lung.	Mogi A et al.	第一外科 (病態総合外科)
J Biomed Biotechnol.583929, 2011. (Online Published Only)	TP53 mutations in nonsmall cell lung cancer.	Mogi A et al.	第一外科 (病態総合外科)
Surg Today.41(12):1661-1664, 2011.	Successful Management of a Large Bronchopleural Fistula After Lobectomy: Report of a Case.	Tanaka S et al.	第一外科 (病態総合外科)
Lung Cancer.74(1):139-144, 2011.	Prognostic and predictive implications of HER2/ERBB2/neu gene mutations in lung cancers.	Tomizawa K et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology. 2012 Mar-Apr;59(114):372-4., 2012	Extranodal metastasis predicts poor survival in advanced colorectal cancer.	Tsutsumi S, et al.	第一外科 (病態総合外科)
Hepatogastroenterology. 2012 Jan-Feb;59(113):101-3., 2012	Feasibility of solo laparoscopic colorectal resection.	Tsutsumi Set al.	第一外科 (病態総合外科)
Int Surg 2011;96:352-357, 2012	The progression potential of peritoneal dissemination nodules from gastrointestinal tumors.	Yamauchi Het al.	第一外科 (病態総合外科)
Int Surg 2011;96:310-315, 2012	Liver hemorrhage due to idiopathic peliosis hepatis successfully treated with hepatic artery embolization.	Suzuki Set al.	第一外科 (病態総合外科)
J Surg Res 167(1):49-55, 2011	The effect of nicorandil on ischemia-reperfusion injury in a porcine total hepatic vascular exclusion model.	Yamazaki H., Oshima K., Sato H., Kobayashi K., Suto Y., Hirai K., Odawara H., Matsumoto K., Takeyoshi I.	第二外科
Experimental and therapeutic medicine 2(6):1069-1072, 2011	Papillary lesions of the breast diagnosed using core needle biopsies.	Tokiniwa H., Horiguchi J., Takata D., Kikuchi M., Rokutanda N., Nagaoka R., Sato A., Odawara H., Tozuka K., Oyama T., Takeyoshi I.	第二外科
Breast Cancer 2011	Topoisomerase II alpha expression and the Ki-67 labeling index correlate with prognostic factors in estrogen receptor-positive and human epidermal growth factor type-2-negative breast cancer.	Tokiniwa H., Horiguchi J., Takata D., Kikuchi M., Rokutanda N., Nagaoka R., Sato A., Odawara H., Tozuka K., Oyama T., Takeyoshi I.	第二外科

Anticancer Res 31(1): 287-291, 2011	A phase II study of weekly paclitaxel and doxifluridine combination chemotherapy for advanced/recurrent gastric cancer.	Takeyoshi I., Makita F., Tanahashi Y., Iwazaki S., Ogawa T., Tomizawa N., Nakamura S., Ishikawa H., Ohya T., Kakinuma S., Nakagami K., Sato Y., Koyano T., Roppongi T., Izumi M., Kobayashi J., Kawate S., Sunose Y., Kobayashi M., Yamada T., Sakamoto I.	第二外科
Anticancer Res 31(12): 4625-4630, 2011	Weekly Paclitaxel in combination with doxifluridine for peritoneally disseminated gastric cancer with malignant ascites.	Takeyoshi I., Makita F., Iwazaki S., Ishikawa H., Kakinuma S., Sato Y., Ohya T., Nakagami K., Tomizawa N., Izumi M., Kobayashi I., Tanahashi Y., Kobayashi J., Kamoshita N., Kawate S., Sunose Y., Sakamoto I., Yoshinari D., Yamada T., Okabe T.	第二外科
Dig Dis Sci 56(8):2276- 2282, 2011	The effect of nicorandil on small intestinal ischemia-reperfusion injury in a canine model.	Suto Y., Oshima K., Arakawa K., Sato H., Yamazaki H., Matsumoto K., Takeyoshi I.	第二外科
Oncol Rep 26(5):1205- 1211, 2011	Correlation between computed tomography findings and epidermal growth factor receptor and Kras gene mutations in patients with pulmonary adenocarcinoma.	Sugano M., Shimizu K., Nakano T., Kakegawa S., Miyamae Y., Kaira K., Araki T., Kamiyoshihara M., Kawashima O., Takeyoshi I.	第二外科
Ann Thorac Surg 91(4): 1051-1057, 2011	Prognostic significance of a solid component in pulmonary adenocarcinoma.	Ohtaki Y., Yoshida J., Ishii G., Aokage K., Hishida T., Nishimura M., Takeyoshi I., Nagai K.	第二外科
J Clin Pharm Ther 2011	Effect of landiolol hydrochloride, an ultra-short-acting beta 1-selective blocker, on supraventricular tachycardia, atrial fibrillation and flutter after pulmonary resection.	Nakano T., Shimizu K., Kawashima O., Kamiyoshihara M., Nagashima T., Ibe T., Takeyoshi I.	第二外科
Oncol Rep 25(4):921- 928, 2011	Significance of epidermal growth factor receptor gene mutations in squamous cell lung carcinoma.	Miyamae Y., Shimizu K., Hirato J., Araki T., Tanaka K., Ogawa H., Kakegawa S., Sugano M., Nakano T., Mitani Y., Kaira K., Takeyoshi I.	第二外科
Surg Today 41(8):1166- 1168, 2011	A novel technique for closing a tracheocutaneous fistula using a hinged skin flap.	Kamiyoshihara M., Nagashima T., Takeyoshi I.	第二外科

Cancer 117(18):4257-4266, 2011	Clinicopathological features of lung adenocarcinoma with KRAS mutations.	Takegawa S., Shimizu K., Sugano M., Miyamae Y., Kaira K., Araki T., Nakano T., Kamiyoshihara M., Kawashima O., Takeyoshi I.	第二外科
A Single-institute Experience. Anticancer Res 31(9):3041-3046, 2011	Pathological Complete Response and Prognosis in Patients Receiving Neoadjuvant Paclitaxel and Trastuzumab with and without Anthracyclines for Stage II and III, HER2-positive Operable Breast Cancer	Horiguchi J., Oyama T., Takata D., Rokutanda N., Nagaoka R., Odawara H., Tokiniwa H., Tozuka K., Kikuchi M., Sato A., Takeyoshi I.	第二外科
Eur Spine J. May; 20 (5): 798-803, 2011	Atlanto-axial joint of atlanto-axial subluxation patients due to rheumatoid arthritis before and after surgery, morphological evaluation using CT reconstruction.	反町 泰紀	整形外科
J Arthroplasty. Jun; 26(4): 649-53, 2011	Relationship Between Femoral Component Rotation and Total Knee Flexion Gap Balance on Modified Axial Radiographs.	畑山 和久	整形外科
NeuroImage 56: 1469-1479, 2011	Time course and spatial distribution of fMRI signal changes during single-pulse transcranial magnetic stimulation to the primary motor cortex.	設楽 仁	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 19: 1154-1157 2011	Repair of horizontal meniscal cleavage tears with exogenous fibrin clots.	木村 雅史	整形外科
J Orthop Sci.2011 Nov 18.Epub ahead of print	Characteristics of neck and shoulder pain (called katakori in Japanese) among members of the nursing staff.	飯塚 陽一	整形外科
Eur Spine J. Jul ; 20(2) : 253-257,2011	Atlanto-axial subluxation after pyogenic spondylitis of the atlanto-occipital joint.	角田 和彦	整形外科
整形外科 62: 601-609, 2011	骨端線閉鎖前の小児に対する前十字靭帯再建術の治療成績.	小泉 裕之	整形外科
群馬医学. 93: 49-56, 2011	当科で経験している乳幼児ビタミンD作用不全性クル病の9例.	富沢 仙一	整形外科
日本肘関節学会雑誌. 18(2), 2011	肘関節周辺外傷の損傷形態と異所性骨化	黒沢 一也	整形外科
J. Spine Res. 2: 1391-1395, 2011	腰部脊柱管狭窄症例でのチューブラーレトラクターの工夫とアタッチメントの吸引ポートによるスコープ先端の洗浄.	斯波 俊祐	整形外科
肩関節. 35(2): 309-11, 2011	肩関節機能と脊椎矢状面アライメントの関係.	山本 敦史	整形外科
Eur Spine J. Jun; 20 Suppl 2: S253-7, 2011	Non-traumatic posterior atlanto-occipital joint dislocation.	武智 泰彦	整形外科
Hand Surgery. 16(3): 375-377, 2011	Distal Phalangeal Reconstruction for Intraosseous Epidermoid Cyst of the Finger - A Case Report	黒沢 一也	整形外科
J Hand Surg Am. 36: 428-431, 2011	Solitary osteochondroma of the trapezium: case report.	越 浩美	整形外科
肩関節. 35(2): 673-6, 2011	肩峰下骨軟骨腫に対し鏡視下腫瘍切除術を行った一例.	一ノ瀬 剛	整形外科
関節の外科 38巻4号 (in press) 2011	トシリズマブにて治療中に敗血症および両側足底部膿瘍を発症したRAの1例.	岡部 興一	整形外科

東日本整形学会誌、23: 320-324, 2011	腓骨発生の外骨腫により後脛骨動脈の圧迫を生じた1例.	園田 裕之	整形外科
東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)24巻1号 Page80-	Isaacs症候群に合併した指節間関節症の1例(原著論文/症例報告)	安藤 貴俊	整形外科
東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)24巻1号 Page57-	体幹部に生じた非クロストリジウム性ガス壊疽の1例(原著論文/症例報告)	塩澤 裕行	整形外科
東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)24巻1号 Page49-	橈骨手根関節脱臼骨折の治療経験(原著論文/症例報告)	中島 大輔	整形外科
日本整形外科学会雑誌(1340-8577)32巻1号 Page48-	スノーボードエッジで前腕部完全切断をきたした1例(原著論文/症例報告)	澁澤 一行	整形外科
日本人工関節学会誌(1345-7608)41巻 Page410-411(2011.12)	TKA可動域 人工膝関節置換術後の内外反靭帯バランス 術中大腿骨外旋骨切り角度による比較(原著論文)	畑山 和久	整形外科
関節の外科(0285-6255)38巻4号 Page112-115(2011.12)	生物学的製剤の使用中の高度な肩関節障害に対し人工肩関節置換術を施行し寛解導入した1例(原著論文)	大倉 千幸	整形外科
日本肘関節学会雑誌(1349-7324)18巻2号 Page187-189(2011.11)	観血的整復を要した小児橈骨頭部骨折の治療経験(原著論文)	澁澤 一行	整形外科
臨床整形外科(0557-0433)47巻1号 Page63-66(2012.01)	高校野球投手に対するメディカルチェックー腰痛と全身タイトネス・関節弛緩性との関係(原著論文)	塩澤 裕行	整形外科
肩関節(0910-4461)35巻3号 Page783-786(2011.11)	スポーツ選手に発症した外傷性肩関節前方不安定症に対する鏡視下手術の短期治療成績と関節窩骨形態の関係(原著論文)	設楽 仁	整形外科
The laryngoscope, 121, 1274-1280, 2011	A new and less invasive procedure for arytenoid adduction surgery: Endoscopic-assisted Arytenoid Adduction Surgery.	Murata T., Yasuoka Y., Shimada T., Shino M., Iida H., Takahashi T., Furuya N.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Am J Otolaryngol. 32 624-626, 2011 Feb	Angiotensin II receptor blocker-induced angioedema in the oral floor and epiglottis	Masato Shino, Katsumasa Takahashi, Takaaki Murata, Hideki Iida, Yoshihito Yasuoka, Nobuhiko Furuya	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
小児外科(0385-6313)43巻3号 Page283-287(2011.03)	喉頭気管分離術(気管弁法)の術式とその利点	安岡義人, 二宮洋, 紫野正人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
J Physiol 589(Pt13):3191-209, 2011 May	Disruption of metabotropic glutamate receptor signaling is a major defect at cerebellar parallel fibre-Purkinje cell synapses in staggerer mutant mice	Kazuhiro Mitsumura, Nobutake Hoshi, Nobuhiko Furuya and Hirokazu Hirai	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Auris Nasus Larynx, 39: 65-70, 2012	Sentinel node biopsy for oral and laryngopharyngeal squamous cell carcinoma: A retrospective study of 177 patients in Japan.	Yoshimoto S, Hasegawa Y, Matsuzuka T, Shiotani A, Takahashi K, Kohno N, Yoshida T, Kitano H.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Neuroscience 197: 89-98, 2011	Electrophysiological Characteristics of Inhibitory neurons of the Prepositus Hypoglossi Nucleus as Analyzed in Venus-Expressing Transgenic Rats	M. SHINO, R. KANEKO, Y. YANAGAWA, Y. KAWAGUCHI AND Y. SAITO	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
耳鼻臨床 105:2;87-94, 2012	がん免疫療法に関する最近の話題	近松一朗, 増山敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
J Ultras Med 30:745-751, 2011.	Reliable measurement procedure of virtual touch tissue quantification with acoustic radiation force impulse imaging.	Kaminuma C, Tsushima Y, Matsumoto N, Kurabayashi T, Taketomi-Takahashi A,	核医学科
World J Surg Oncol 9:82, 2011.	Feasibility of externalized peritoneovenous shunt (EPVS) for malignant ascites.	Tokue H, Takeuchi Y, Arai Y, Sofue K, Sakamoto N, Tsushima Y, Endo K	核医学科

Journal of Medical Case Reports 5:346, 2011.	Catheterization and embolization of a replaced left hepatic artery via the right gastric artery through the anastomosis: a case report.	Miyazaki M, Shibuya K, Tsushima Y, Endo K	核医学科
Journal of Medical Case Reports-5:518, 2011.	Ultrasound-guided thrombin injection for the treatment of an iatrogenic hepatic artery pseudoaneurysm: a case report.	Tokue H, takeuchi Y, Sofue K, Arai Y, Tsushima Y	核医学科
Pancreas 40(5):747-52, 2011.	Feasibility of measuring human pancreatic perfusion in vivo using imaging techniques.	Tsushima Y, Miyazaki M, Taketomi-Takahashi A, Endo K	核医学科
World J Surg Oncol 9:127, 2011.	Use of a novel coaxial guide needle-wire (GNW) combination system for computed tomography guided radiofrequency tumor ablation.	Tokue H, Tsushima Y, Ishizaka H, Nakazawa A	核医学科
Eur J Nucl Med Mol I 38:1869-1875, 2011.	Clinical significance of 2-[18F]fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography for the assessment of 131I-metaiodobenzylguanidine therapy in malignant pheochromocytoma.	Nakazawa A, Higuchi T, Oriuchi N, Arisaka Y, Endo K	核医学科
Brit J Radiol 84:1139-1141, 2011.	Development of a fine thermocouple-needle system for real-time feedback of thermal tumour ablation margin.	Ishizaka H, Shiraishi A, Awata S, Shimizu A, Hirasawa S	核医学科
Cancer Sci 103(3):600-605, 2012.	Predicting cetuximab accumulation in KRAS wild-type and KRAS mutant colorectal cancer using 64Cu-labeled cetuximab positron emission tomography.	Achmad A, Hanaoka H, Yoshioka H, Yamamoto S, Tominaga H, Araki T, Ohshima Y, Oriuchi N,	核医学科
J Radiat Res 52(6):804-811, 2011.	Blood Flow Change Quantification in Cervical Cancer before and during Radiation Therapy Using Perfusion CT.	Shibuya K, Tsushima Y, Horisoko E, Noda SE, Taketomi-Takahashi A, Ohno T, Amanuma M,	核医学科
J Vasc Interv Radiol 22(11):1625-1629, 2011.	Anchoring system-assisted coil tract embolization: a new technique for management of arterial bleeding associated with percutaneous nephrostomy.	Tokue H, Takeuchi Y, Arai Y, Tsushima Y, Endo K	核医学科
Jpn J Radiol 29(10):744-8, 2011.	Questionnaires for examinations using iodinated contrast media and their grades of recommendation: Japan Radiological Society/Japanese College of Radiology Joint	Hayashi H, Narumi Y, Takagi R, Takehara Y, Arai Y, Kuwatsuru R, Korogi Y, Sugimoto H,	核医学科
Leg Med. 13(6):286-8, 2011.	Use of postmortem computed tomography to reveal an intraoral gunshot injuries in a charred body.	Sano R, Hirasawa S, Kobayashi S, Shimada T, Awata S, Takei H, Otake H, Takahashi K,	核医学科
Radiat Prot Dosimetry ,151(1):51-57 2012	Diagnostic Reference Level of Computed Tomography (CT) in Japan.	Fukushima Y, Tsushima Y, Hiroyuki T, Taketomi-Takahashi A, Otake H, Endo K	核医学科
Kitakanto Med J. 61: 483-7, 2012	Navigator-gated Non-contrast Renal MR Angiography: Qualitative and Quantitative Comparison of 3T and 1.5T Images.	Shimada T, Amanuma M, Takahashi A, Tshushima Y	核医学科
Jpn J Radiol 30:78-80, 2012.	CT fluoroscopy-guided radiofrequency ablation of osteoid osteoma with double nidi.	Miyazaki M, Miyazaki A, Kurabayashi T, Shinozaki T, Endo K, Tsushima Y	核医学科
Cancer Immunol Immunother 2012.	In vivo therapeutic effect of CDH3/P-cadherin-targeting radioimmunotherapy.	Yoshioka H, Yamamoto S, Hanaoka H, Iida Y, Paudyal P, Higuchi T, Tominaga H, Oriuchi N,	核医学科
Int J Cardiol 156:104-5, 2012.	Doppler echocardiography may provide a potentially life-saving screening of anomalous origin of coronary artery in young athletes.	Nakahara T, Takahashi-Tateno R, Hasegawa A, Kimura T, Tsushima Y, Murakami M,	核医学科
J Ultrasound Med 31:1239-1244, 2012	Reliable measurement of virtual touch tissue quantification with acoustic radiation force impulse imaging: phantom study.	Yamanaka N, Kaminuma C, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y	核医学科
Jpn J Radiol. 30:310-316, 2012	Contrast- and non-contrast-enhanced ultrasonography (US) findings of hepatic metastasis from malignant pheochromocytoma/paraganglioma.	Nakano S, Tsushima Y, Higuchi T, Taketomi-Takahashi A, Amanuma M	核医学科
日本未熟児新生児学会雑誌 24(1): 24-28, 2012	生殖医療と周産期医療の連携	峯岸 敬	産科婦人科



内分泌・糖尿病・代謝内科 34(2): 108-112, 2012	高プロラクチン血症と卵巣機能	今井文晴, 岸 裕司, 峯岸 敬	産科婦人科
Physicians' Therapy Manual (PTM) 11(2): 2011	婦人科領域におけるホルモン療法の最前線	峯岸 敬	産科婦人科
臨床婦人科産科 65(9): 1108-1112, 2011	中枢性排卵障害・高PRL血症	今井文晴, 岸 裕司, 峯岸 敬	産科婦人科
産科と婦人科 78(7): 858-862, 2011	ARTと胎盤異常	定方久延, 勝俣祐介, 峯岸 敬	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 63(6): 1306-1313, 2011	本邦における子宮内膜症治療が卵巣予備能に与える影響に関する検討小委員会	峯岸敬, 久保田俊郎, 原田省, 百枝幹雄, 安井敏之, 岸裕司, 林邦彦	産科婦人科
臨床婦人科産科 65(4): 373-377, 2011	月経異常 原発無月経	峯岸 敬	産科婦人科
産婦人科治療 102(増刊): 628-634, 2011	子宮内膜症 子宮内膜症合併不妊の治療法	岸 裕司, 峯岸 敬	産科婦人科
日本臨床麻酔学会誌 2011;31:678-84.	エアウェイスコープの習熟度評価と挿管困難対策用具としての有用性について	内田慎也、荻野祐一、齋藤繁	麻酔科蘇生科
臨床麻酔2011;35:1499-1502	1%ブドウ糖加酢酸リンゲル液輸液の術中血糖変化—食道手術患者で—	門井雄司、西田晃子、神山治朗、黒田昌孝、齋藤繁	麻酔科蘇生科
麻酔2011;60:929-35	電気ショック療養中のperfusion indexとpleth variability indexの経時的変化	徳江彩、齋藤博之、鈴江綾子、門井雄司、齋藤繁	麻酔科蘇生科
Journal of Medical and Dental Sciences 2011;58:113-121.	Epithelial regeneration after diffuse alveolar damage in relation to underlying disease and DAD stage: an autopsy study.	Asano S, Takemura T, Katoh K, Taneda M, Kitagawa M.	麻酔科蘇生科
Int Heart J 2011;52(3):170-4.	High mobility group box 1 levels in on and off-pump cardiac surgery patients.	Haque A, Kunimoto F, Narahara H, Okawa M, Hinohara H, Kurabayashi M, Saito S.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011;25:409-14.	Time course of changes in cerebral blood flow velocity after tourniquet deflation in patients with diabetes mellitus or previous stroke under sevoflurane anesthesia.	Hinohara H, Kadoi Y, Takahashi K, Saito S, Kawauchi C, Mizutani A.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011; 25:286-90.	Use of rocuronium-sugammadex, an alternative to succinylcholine, as a muscle relaxant during electroconvulsive therapy	Hoshi H, Kadoi Y, Kamiyama J, Nishida A, Saito H, Taguchi M, Saito S.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011; 23:855-59.	Comparison of recovery times from rocuronium-induced muscle relaxation after reversal with three different doses of sugammadex and succinylcholine during electroconvulsive therapy	Kadoi Y, Hoshi H, Nishida A, Saito S.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011; 25:641-47.	Association between cerebrovascular carbon dioxide reactivity and postoperative short-term and long-term cognitive dysfunction in patients with diabetes mellitus	Kadoi Y, Kawauchi C, Kuroda M, Takahashi K, Saito S, Fujita N, Mizutani A.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011; 25:271-77.	Adequacy of control of preoperative hypertension can affect landiolol-induced hemodynamic changes in elderly patients during emergence from	Kadoi Y, Horiuchi T, Uchida S, Saito S.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011;25:10-17.	Preoperative depression is a risk factor for postoperative short-term and long-term cognitive dysfunction in patients with diabetes mellitus	Kadoi Y, Kawauchi C, Ide M, Kuroda M, Takahashi K, Saito S, Mizutani A.	麻酔科蘇生科
J Anesth 2011; 25(5):692-7.	Effect of flurbiprofen, metoclopramide and droperidol for nausea and emesis during cesarean section under spinal anesthesia.	Kimura M, Okamoto T, Tsukagoshi H, Sato J, Saito S.	麻酔科蘇生科

Neuroradiology 2012 ;Feb 15. [Epub ahead of print]	Location of major vessels in prone-positioned patients undergoing percutaneous lumbar sympathectomy.	Koizuka S, Saito S, Masuoka S, Nakajima K, Koyama Y.	麻酔科蘇生科
Pain 2012;153:990-7.[Epub Mar 15]	An increase in spinal cord noradrenaline is a major contributor to the antihyperalgesic effect of antidepressants after peripheral nerve injury in the	Nakajima K, Obata H, Iriuchijima N, Saito S.	麻酔科蘇生科
Neuropharmacology 2011;61(1-2):172-80. [Epub Apr 7]	The influence of manipulations to alter ambient GABA concentrations on the hypnotic and immobilizing actions produced by sevoflurane, propofol, and midazolam.	Nishikawa K, Kubo K, Obata H, Yanagawa Y, Saito S.	麻酔科蘇生科
Mol Pharmacol 2012;81:610-9.[Epub Jan 24]	Impaired glycinergic synaptic transmission and enhanced inflammatory pain in mice with reduced expression of vesicular GABA transporter (VGAT).	Yamada MH, Nishikawa K, Kubo K, Yanagawa Y, Saito S.	麻酔科蘇生科
Neuroradiology. ( 2012 Feb 15. [Epub ahead of print])	Location of major vessels in prone-positioned patients undergoing percutaneous lumbar sympathectomy.	肥塚史郎 (Koizuka S, Saito S, Masuoka S, Nakajima K, Koyama Y.)	麻酔科蘇生科
Neuroradiology. ( 2012 Feb 15. [Epub ahead of print])	Location of major vessels in prone-positioned patients undergoing percutaneous lumbar sympathectomy.	肥塚史郎 (Koizuka S, Saito S, Masuoka S, Nakajima K, Koyama Y.)	麻酔科蘇生科
Neurology 77; 1427-1431	Different clinical and neuropathological phenotypes of familial ALS with A315E TARDBP mutation	Fujita Y et al	脳神経内科
Neuropathology 31; 42-47	Morphological changes of Golgi apparatus in adult rats after facial nerve injuries	Fujita Y et al	脳神経内科
Neuropathology 31; 170-176	Numerous FUS-positive inclusions in an elderly woman with motor neuron disease	Fujita Y et al	脳神経内科
J Neurol Sci 302; 14-18	Peripherin partially localizes in Bunina bodies in amyotrophic lateral sclerosis	Mizuno Y et al	脳神経内科
Neuropathology 31; 569-574	Optineurin in neurodegenerative diseases	Osawa T et al	脳神経内科
Psychogeriatrics 11; 221-226	Yamaguchi fox-pigeon imitation test (YFPIT) for clinical practice of dementia	Yamaguchi H et al	脳神経内科
Endocr J	Association between accumulation of visceral fat and the combination of $\beta$ 3 adrenergic receptor Trp64Arg, $\beta$ 2 adrenergic receptor Arg16Gly and uncoupling protein 1 -3826A>G polymorphisms detected by Smart Amplification Process 2.	Tsunekawa K, Yanagawa Y, Aoki T, Morimura T, Araki O, Ogiwara T, Kawai Y, Mitani Y, Lezhava A, Yanagawa M, Uehara H, et al.	臨床検査医学
Life Sci	Derivatives of Dictyostelium differentiation-inducing factors promote mitogen-activated IL-2 production via AP-1 in Jurkat cells	Takahashi K, Murakami M, Kikuchi H, Oshima Y, Kubohara Y	検査部
Heart	Prognostic value of cardiac sympathetic nerve activity evaluated by [123I]m-iodobenzylguanidine imaging in patients with ST-segment elevation myocardial infarction.	Kasama S, Toyama T, Sumino H, Kumakura H, Takayama Y, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto	検査部
Heart	Effects of spironolactone on cardiac sympathetic nerve activity and left ventricular remodelling after reperfusion therapy in patients with first ST-segment elevation myocardial infarction	Kasama S, Toyama T, Sumino H, Kumakura H, Takayama Y, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto	検査部
Journal of Experimental and Clinical Medicine 1	Hormone therapy and blood pressure in postmenopausal women.	Sumino H, Ichikawa S, Kasama S, Takahashi T,	検査部
Atherosclerosis	Sex-related differences in Japanese patients with peripheral arterial disease.	Kumakura H, Kanai H, Araki Y, Kasama S,	臨床検査医学
日本臨床検査自動化学会誌	ルミパルスTSH-III、ルミパルスFT3-N、ルミパルスFT4-Nの性能評価	渡邊留海, 小林良乃, 須藤千秋, 天谷初夫, 村上	検査部
適応医学	森林浴の生理学的適応効果	近藤照彦, 武田淳史, 細谷隆一, 村上正巳, 小林	臨床検査医学
日本臨床微生物学雑誌	真珠腫性中耳炎患者から分離された非溶血性 Streptococcus pyogenes の 1 症例	高橋美紀, 四方田幸恵, 村上正巳	検査部
群臨衛技会誌	臨床化学分析装置ディメンションEXLによる血清リチウム濃度測定の評価	中嶋清美, 古田島伸雄, 生方深雪, 町田哲男, 四	検査部
群臨衛技会誌	クオンティフェロンTBゴールドの使用経験	澤田裕也, 小林良乃, 須藤千秋, 渡邊留海, 天谷	検査部
群臨衛技会誌	HISCL-2000iを用いたFT4、FT3、TSH測定試薬の評価	藤井咲枝, 古田島伸雄, 町田哲男, 天谷初夫, 四	検査部

群臨衛技会誌	多項目自動血球分析装置XE-2100における網赤血球ヘモグロビン等量に関する検討	渡邊瑠海, 天谷初夫, 神山知沙子, 早川昌基, 静	検査部
群臨衛技会誌	自動血球計数装置における平均血小板容積の検討	神山知沙子, 天谷初夫, 溝口美祐紀, 早川昌基, 萩原周一	検査部
Resuscitation	Survival after 385 min cardiopulmonary resuscitation with extracorporeal membrane oxygenation and rewarming with haemodialysis for hypothermic cardiac arrest	Shuichi Hagiwara, Takuro Yamada, Kazumi Furukawa, Koichi Ishihara, Takuro Nakamura, Yoshio	臓器病態救急学
日本救急医学会	二次性溺水により発症した急性呼吸窮迫症候群に対し集中治療を行い救命し得た1例	萩原周一, 古川和美, 村田将人, 中村卓郎, 大山良雄, 田村遵一, 大嶋清宏	臓器病態救急学
日本救急医学科関東地方会雑誌	フェノバルビタール9,000mgを内服し意識障害が遷延した1例	荻野隆史, 青木誠, 石川哲也, 萩原周一, 大嶋清宏	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会	肺炎球菌性肺炎の経過中に発症し、診断・治療に難渋した偽痛風の1例	村田将人, 萩原周一, 古川和美, 石原宏一, 中村卓郎, 大山良雄, 田村遵一, 大嶋清宏	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会	アジサイの葉を採取した1例	石川哲也, 荻野隆史, 青木誠, 稲田遼吾, 大塚真, 金井光康, 石黒幸司, 中田聡, 本徳浩二, 笹口修男, 栗原秀行, 萩原周一, 大嶋清宏	臓器病態救急学
INNERVISION	オートプシー・イメージング(Ai)実施のケーススタディ チーム医療としての関連部署の見解と役割 群馬大学大学院医学系研究科オートプシー・イメージングセンター 救急医学の立場から	大嶋清宏	臓器病態救急学
群馬医学	縦隔気腫を伴ったWernicke脳症の1例	荻野隆史, 大塚真, 金井光康, 石黒幸司, 星野崇, 長沼篤, 工藤智洋, 高木均, 根岸幾, 佐藤洋一, 山岸敏治, 坂田一宏, 萩原周一, 大嶋清宏, 飯野佑一	臓器病態救急学
J Surg Res	The effect of nicorandil on ischemia-reperfusion injury in a porcine total hepatic vascular exclusion model.	Yamazaki H, Oshima K, Sato H, Kobayashi K, Suto Y, Hirai K, Matsumoto	臓器病態救急学
Dig Dis Sci	The effect of nicorandil on small intestinal ischemiareperfusion injury in a canine model.	Suto Y, Oshima K, Arakawa K, Sato H, Yamazaki H, Matsumoto	臓器病態救急学
Journal of Physical Therapy Science 23	Differential Responses of Myogenic C2C12 Cells to Hypoxia between Growth and Muscle-Induction Phases: Growth, Differentiation and Motility	Sato k.	リハビリテーション医学
J Orthop Scni	Alternation of trunk movement after arthroplasty in patients with osteoarthritis of the knee	Qi Zhong Chang	リハビリテーション医学
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Full Knee extension magnetic resonance imaging for the evaluation of intercondylar roof impingement after anatomical double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction	Takanori Iriuchishima	リハビリテーション医学
J Orthop Sci.	A case report of Gorham-Stout syndrome remission	Shimizu T	リハビリテーション医学
Arch Orthop Trauma Surg	In vitro and in vivo AM and PL tunnel positioning in anatomical double bundle anterior cruciate ligament reconstruction	Takanori Iriuchishima	リハビリテーション医学
AUTHO'S PROOF	Acute Phase Response of Selenium Status and Glutathione Peroxidase Activity in Blood Plasma Before and After Total Knee Arthroplasty Surgery	Irma Ruslina Defi	リハビリテーション医学
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Age as a predictor of residual muscle weakness after anterior cruciate ligament reconstruction	Takanori Iriuchishima	リハビリテーション医学
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc,	Rollback of the femoral condyle in anatomical double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction	Takanori Iriuchishima	リハビリテーション医学
The American Journal of Sports Medicine	ACL Graft Impingement (Letter to the Editor/Response)	Takanori Iriuchishima	リハビリテーション医学
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc,	PCL to graft impingement pressure after anatomical or non-anatomical single-bundle ACL reconstruction	Takanori Iriuchishima	リハビリテーション医学

公衆衛生	在宅医療への遠隔医療技術の活用	酒巻哲夫	医療情報部
日本遠隔医療学会雑誌	在宅脳血管疾患・がん患者を対象とした遠隔診療 —多施設後ろ向き症例対照研究—	酒巻哲夫	医療情報部
日本遠隔医療学会雑誌	訪問診療における遠隔診療の効果に関する多施設 前向き研究	酒巻哲夫	医療情報部

計 284

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長：野島 美久	
管理担当者氏名	総務課長：福田 美則	医療サービス課長：小出 利一

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療サービス課、医療情報部	電子カルテによる管理。(医療サービス課)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		紙媒体のファイルを保管、管理。(医療サービス課)
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課	
	高度の医療の研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課、薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課	紙媒体のファイルを保管、管理。(医療サービス課)
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療サービス課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	材料部 放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	材料部 放射線部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	材料部 放射線部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病 院 長：野島 美久
閲覧担当者氏名	総務課長：福田 美則
閲覧の求めに応じる場所	医学部大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	1 件
閲覧者別	医 師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	85.10%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		16,604 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,322 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,269 人
	D：初診の患者の数		23,334 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当院における安全管理の基本的考え方：安全文化の育成</li><li>・ 医療安全を推進するための委員会等の設置</li><li>・ 職員に対する研修の基本方針</li><li>・ 事故報告などの医療に関わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>・ 事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>・ 情報の共有に関する基本方針（当該指針の閲覧に関する基本方針）</li><li>・ 患者相談への対応に関する基本方針</li></ul></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療業務安全管理委員会：医療事故防止専門委員会からのインシデント報告書の分析結果等の報告を受け、分析結果や改善指摘事項等について協議するとともに、その改善事項等の決定及び各診療科等への改善命令等の決定を行う。</li><li>・ 医療事故防止専門委員会：具体的なインシデント・アクシデント報告書の内容分析を行い、改善事項等について審議し、その結果を上部委員会へ報告するとともに、決定された改善事項についてやテーマを設けての病棟等巡視点検を行う。</li></ul></li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 6 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<p>23年度は全体研修として「医療安全職員研修」(全6回)、「児童虐待予防講演会」,「CV C認定制度説明会」,「感染対策講演会」,「救命救急講習会」(全12回)を実施した。その他に新規採用者へ、前後期に本院の医療安全管理体制、麻薬管理など4テーマについて研修を実施した。また、新採用職員・研修医のオリエンテーションで、安全や感染に関する講演を行った。原則的には、全ての研修の内容がe-Learningで受講できるよう整備し、一部の研修については、研修の様子を撮影したDVDの上演会も行った。</p></li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	



<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各診療科，病棟等にリスクマネージャー93名を配置。</li> <li>・ 月間強化テーマを設け医療事故防止専門委員による巡視。</li> <li>・ 『医療安全情報』の閲覧確認簿の設置</li> </ul> </li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 4名)
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 4名)
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 4) 名 兼任 ( 4) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故発生時の即時対応</li> <li>・ インシデント・アクシデント報告書の即時調査，分析，管理</li> <li>・ 医療業務安全管理委員会，医療事故防止専門委員会，医療事故調査専門委員会，リスクマネージャー会議に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院感染対策に関する基本的な考え方</li><li>・ 感染対策委員会及び感染制御部</li><li>・ 職員研修</li><li>・ 病院感染発生時の対応</li><li>・ 病院感染対策マニュアル</li><li>・ 患者への情報提供と説明</li><li>・ その他の病院感染対策の方針</li></ul></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 感染対策の実施及び指導</li><li>・ 感染対策に関する必要事項の検討</li><li>・ 感染症の情報収集、整理、解析及び対策</li><li>・ 感染症の解析結果の迅速な情報提供</li><li>・ 感染症の継続的観察及び対策実施後の評価</li><li>・ 感染症に関する啓発、講習、教育</li><li>・ 感染防止のためのガイドライン及びマニュアルの整備</li></ul></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新採用職員研修（オリエンテーション）「検査部と感染予防対策について」</li><li>・ 全体研修 感染対策研修会 「一類感染症診療について」等</li><li>・ 全体研修 感染対策講演会 「腸管出血性大腸菌感染症の現状と課題」</li><li>・ 全体研修 感染対策講演会 「ウイルス性肝炎の感染対策について」</li></ul></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎月の感染対策委員会、感染制御部運営委員会合同委員会の開始前に、テーマを決めて委員による院内の視察を行い、評価、改善指導を行っている。</li><li>・ 長期使用抗菌薬の定期的調査を行っている。</li></ul></li></ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 年度初め 新規採用全職員に対して医薬品安全使用のための講習会</li><li>・ 年度初め 新入職看護師に対して医薬品の安全使用のための講習会</li><li>・ 年度初め (3回) 新規採用者に対して医薬品安全使用のための講習会、</li><li>・ 11月 後期新規採用職員に対して医薬品安全使用のための講習会</li></ul></li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成 (有)</li><li>・ 業務の主な内容：<p>院内で医薬品を安全に取り扱うための手順を見直し、平成22年4月、平成22年10月、平成23年1月、24年1月に手順書を改訂した。各病棟の薬剤師が実施状況をチェックし、医薬品安全管理責任者が確認している。</p></li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<p>医薬品安全にかかわる情報の収集、管理、提供については薬剤部D Iセンターが担当している。病棟薬剤師と週に1回カンファレンスを行い、情報収集と提供に努めている。該当医薬品を使用している医師を特定し、迅速な情報提供と収集を行っている。さらに院内広報誌「D Iニュース」で院内の全職員に情報を伝えている。</p></li></ul>	

(様式第 13-2)

### 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
・ 研修の主な内容： 人工心肺装置、血液浄化装置、人工呼吸器、閉鎖式保育器、除細動装置について、それぞれ医療機器の有効性・安全性に関する事項、医療機器の使用方法に関する事項、医療機器の保守点検に関する事項、医薬機器の不具合等が発生した場合の対応に関する事項について年1回以上実施しています。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： 年間を通した、点検月を決めて点検を実施しています。内容はそれぞれに機器の主とした機能の精度管理を行っております。輸液ポンプであれば、流量精度、呼吸器では換気量など。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ME機器等管理運用委員会等で安全情報等の報告、安全管理室と合同でヒヤリハットニュース発行や各病棟への医療機器の操作講習会の実施。また、院内のホームページ上でME機器部門内に医療機器の添付文章の閲覧ができるようにしています。	